

パーソナルファイナンス学会  
2023 年度会員総会 議事録

日時：2024 年 2 月 24 日（土）12：10～12：30

会場：対面開催

出席者数：40 名+委任状：21 通=61 名

定足数（会員数の 1/10）：14 名

議長である坂野会長より、開催に先立ち、はがきでの委任状 21 通と会場参加者とあわせて定足数を満たしていることが確認された。配布の資料に基づき、坂野会長より各委員会の活動報告を代表して報告すること述べられた。

報告事項

1. 各委員会・部会活動

1) 編集委員会

坂野会長より資料に基づき、『パーソナルファイナンス研究』No.9 の HP 公開と J-Stage に公開されたことと No.10 については、最終審査中であることが報告された。

2) 国際交流・広報委員会

坂野会長より資料に基づき、メールレターの配信回数が報告された。部会活動の広報の一環として、今年度開催の東部部会の動画を各回約 1 か月公開したことが報告された。

3) 総務・財務委員会

坂野会長より資料に基づき、会費収入額と予算に対する納入率が報告された。

4) 研究・出版助成委員会

2023 年度の申請はなかった。

5) 大会委員会

坂野会長より、第 23 回大会の開催に際し、開催校である拓殖大学の佐藤幸志理事にお礼が述べられた。また、4 年半ぶりの対面開催となった今大会に 50 名超の参加申込があったことが報告された。

6) 部会報告

#### ■西部部会

坂野会長より、資料に基づき昨年12月16日に対面開催された研究会の内容が紹介された。

#### ■東部部会

坂野会長より、資料に基づき、オンライン開催された2回の研究会について、報告がなされた。

#### 7) 金融教育部会

特になし

#### 8) イノベーション部会

特になし

#### 9) 将来構想委員会

特になし

### 2. 2023年度中間決算報告

坂野会長より、資料に基づき現在の収支について説明がなされた。当初、大会を対面開催であっても懇親会は開催しない予定を変更したため、大会準備補助金が予算超過になる予想との補足説明がなされた。

### 3. 2023年度名誉会員紹介

坂野会長より、2023年度より名誉会員となられた大阪商業大学名誉教授の片山隆男先生が紹介された。片山先生は、15年という長きにわたり当学会の理事を務めていただき、学会に貢献していただいた。また、学会の設立間もない時期から、消費者金融サービスと消費者行動、庶民金融の総合的研究、消費者金融の利用に関する研究をなされ、勤務先の大阪商業大学では、副学長も務められたとの紹介がなされた。

紹介後、坂野会長より表彰状と記念品が手渡され、片山名誉会員より挨拶がなされた。

### 4. 2023年度学会賞授賞式

坂野会長より、2023年度学会賞は、前田真一郎氏の『アメリカの金融制度と銀行業：商業銀行の業務展開』が授賞したとの発表がなされた。続いて、桑名義晴選考委員長より、講評が述べられ、坂野会長より表彰の記念盾が贈られた。前田氏より受賞のことばが述べられた。

## 審議事項

### 1.2024 年度第 24 回全国大会について

坂野会長より、2024 年度の開催は 11 月 30 日に早稲田大学国際会議場にて早稲田大学クレジットビジネス研究所と共催することが提案され、承認された。今年度の大会会場についても拓殖大学のご協力により、ようやく確保ができた状況であり、早めの予約が必須のため先行して会場を予約したことで早稲田大学クレジットビジネス研究所との共催であれば、会場費が不要となることの選定理由が説明された。

### 2.名誉会員推薦

坂野会長より、資料に基づき 2024 年度の名誉会員として、元会長の江夏健一氏（早稲田大学名誉教授）と現副会長の杉江雅彦氏（同志社大学名誉教授）が推薦され、承認された。

### 3.2023 年度第 24 期予算について

坂野会長より資料に基づき、2024 年度予算について説明がなされ、承認された。ほぼ例年を踏襲していることと、大会準備補助金については経済がインフレ気味であり、不足する可能性があることが補足された。

### 4.入会・退会について

坂野会長より、資料に基づき 2 名の入会と 1 社の法人会員入会、3 名の退会と 8 名の会則退会が報告された。

最後に質問ないか確認がなされた後に、午後のプログラム開始時間が告知され、閉会となった。

(文責 リエゾンオフィス)